

「環境美化に関するアンケート」の実施結果について

1. 目的

多摩市では、街の美化に対して市民の関心が高く、歩きタバコ等の規制を求める声も少なくありません。そのため、平成16年度より「多摩市喫煙マナーアップキャンペーン実行委員会」による啓発活動や、平成18年制定の「多摩市路上喫煙の防止に関する要綱」により、対応を図ってまいりました。

しかしながら、歩きタバコや、ポイ捨て防止に向けた街美化に関する条例を制定する自治体が増えてきています。

そのため、多摩市では今後の街の美化の方向を決めるために、市民の皆様の意見を頂戴したいと考え、「環境美化に関するアンケート」を実施いたしました。

2. 実施状況

- ・実施期間：平成20年12月5日～平成20年12月22日
※当初、回答期限を12月22日としましたが、期限を過ぎても多くの回答があったため、平成21年2月2日迄に頂いた回答をまとめました。
- ・アンケート内容：資料1を参照。
- ・対象者：住民記録より無作為に選ばせていただいた1000人に郵送にて送らせていただきました。
- ・回答：445人（回答率44.5%）

3. 実施結果について

資料2～4を参照。

4. 傾向

- ・回答者のうち非喫煙者の割合が高かった。《Q1》
- ・全体の6割以上の方が喫煙マナーを「悪い」と感じており、喫煙者でも約半数以上の方が「マナーが悪い」と感じている。《Q2、Q4、Q5》
- ・喫煙者でも約7割が「路上での喫煙制限をするべき」と考えている。《Q3》
- ・歩行喫煙禁止区域については、全体の7割以上が「拡大すべき」と考えており、喫煙者でも5割以上が同様の意見を持っている。《Q7》
- ・街の美化に関する対応は「条例等で規制すべき」との意見が約6割であった。《Q11》
- ・美化活動に関しては約5割の人が「参加したくない」と考えており、ついで「喫煙マナーアップキャンペーン以外のキャンペーンに参加したい」という意見が多かった。《Q12》